



学院中だより

(6号)

令和3年11月11日 文責 上野由紀夫

充実した行事・・実りの秋となりました!

(3年生)



事前の調べ学習

今年も本来予定していたカナダへのホームステイはできませんでしたが、10月26～29日、北海道への修学旅行を実施しました。生徒たちは、事前にテーマを決めて、北海道についての調べ学習を行い、修学旅行に臨みました。静岡（浜松）とは異なる気候、歴史、文化や風土を五感で触れる貴重な4日間となりました。



有珠山から昭和新高山を望む（防災学習を行いました）



「ウポポイ」でアイヌの文化を学ぶ



大倉山ジャンプ台にて



函館夜景を独占した本校生徒



飛行機から見た富士山も最高



小樽運河にて



大沼公園でボートオリエンテーリング

現地のガイドさんから多くのことを学ぶことができました。たくさんの方から、聴く態度、学ぶ態度をほめていただきました。生徒の感想の一部を紹介します。

中学校で一番の思い出です。本当はカナダのホームステイでしたが、コロナの影響で行けませんでした。修学旅行に行けない学校がある中、私たちは行くことができました。とても楽しかったです。北海道について、沢山のことを学びました。文化について言語、衣装など各文化があって、とても良かったです。いろいろな人、知らない人に教えたいな!と思いました。

大倉山ジャンプ台はオリンピックが行われた本場の所なので、もうなにもかもがすごいと思えなくて、目が乾燥するほど見開いたままでした。リフトでは〇〇さんと二人で乗れて、景色も良くて、嬉しいことが重なって、やっぱり友達といるといいな、と改めて思いました。そして、友達を大切にしようと思えました。

小樽の町はとてもきれいでした。オルゴール堂はきれいな音色を響かせていて、心が洗われたような気がしました。ガラス屋が有名な町だと知っていたので、ガラス屋巡りをしました。男子が文句も言わずについて来てくれたので感謝しかありません。班もはぐれず、時間通り行動できました。

「地域の方」「付属幼稚園」から多くのことを学びました。 「ありがとうございました！」

(2年生)



事前のマナー研修

11月2日、本校2年生が、自らの希望職種をもとに浜松市内13の事業所に分かれて、「職場体験」を実施しました。

7名の生徒は、単独での挑戦となり、緊張の中にも充実した一日を送ることができました。お世話になった事業所からも、事前準備のよさや、前向きな取り組みに良い評価をしていただきました。



天浜線の車両清掃



自らのデザインを作品に



クリスマスツリーの飾り付け



園芸作業に全力投球

(生徒の感想)

僕はサムネイル作りをしました。配置を考えてやるのが難しかったです。クオリティが高い商品は心を込めて作られていることがわかりました。自分が作ったデザインを見てもらうのがうれしいと言っていました。僕も自分で作ったサムネイルを見ていただき、上手とほめられたのでうれしかったです。

(事業所より)

クリスマスツリーの飾り付けでは、二人で相談しながらスムーズに仕事を進めてくれました。笑顔がステキでとても良かったと思います。細かい作業が好きとのことで、楽しそうに取り組んでくれて良かったです。

(1年生)

1年生は11月2日、浜松学院大学付属幼稚園で終日「幼稚園実習」を行いました。事前に技術・家庭の授業でも幼児の特性や関わり方等の学習はしたものの、当日は戸惑いの連続のようでした。しかし、時間とともに、少しずつ緊張がほぐれている様子を感じました。生徒にとっては、充実かつ貴重な体験でした。



本校での「読み聞かせ練習」



半分照れながらも園児と触れ合う貴重な経験でした



本校では、もっとも下級生ですが、園児との触れ合いを通して、自分たちの幼稚園の頃を思い出したり、ちょっぴり「お兄さん・お姉さん」気分を味わったりしたようです。

(生徒の感想)

実習を通して学んだことは、園児に対して目線を合わせることも、また、優しく接することなど、小学校の時では経験できないことを学びました。外に遊びに行った瞬間、他の園児たちも寄ってきてくれたのが、すごくうれしかったです。どの学年の子どもたちも、すごく自分と楽しそうに遊んでくれたりして、とても楽しい一日でした。